

秋田県における平成30年産主食用米の「生産の目安」とその算定方法

平成29年12月1日
秋田県農業再生協議会

秋田県全体の平成30年産主食用米の「生産の目安」について、平成29年12月1日に開催した当協議会臨時総会において、次のとおり決定しました。

1 秋田県における平成30年産主食用米の「生産の目安」

数 量 408,700トン

面積換算 71,326ha

2 算定方法

別紙「秋田県における平成30年産主食用米の「生産の目安」の算定方法」のとおり

秋田県における平成30年産主食用米の「生産の目安」の算定方法

平成29年12月1日
秋田県農業再生協議会

1 算定方法

本県の「生産の目安」は、「全国生産量と県産米シェアから算出した数値」と「需給動向と適正在庫量から算出した数値」の中間値を基本とし、必要に応じて「直近の販売状況を踏まえた補正」を行って設定することとする。

2 算定に用いる数値

(1) 県産米シェア率

全国需要量に占める県産米のシェア率は、平成22～28年の7中5平均で算出。

単位：トン、%

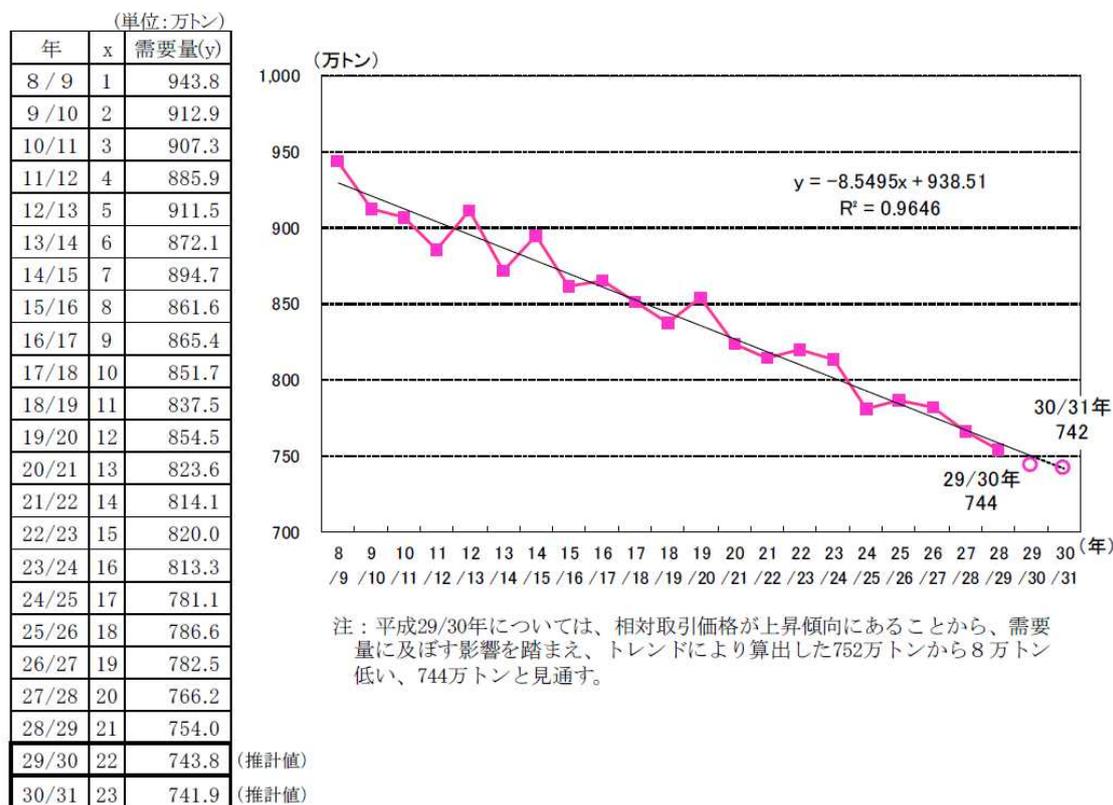
年産	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	7中5平均
全国	8,199,964	8,132,739	7,811,000	7,866,000	7,825,000	7,662,000	7,540,000	—
秋田県	471,039	450,496	403,815	440,402	412,193	470,654	413,615	—
シェア率	5.7444	5.5393	5.1698	5.5988	5.2676	6.1427	5.4856	5.5272
算出採用	○	○	×	○	○	×	○	

(2) 適正在庫量

6月末の県産米の適正在庫量は、国が「安定供給が可能な水準」とする全国在庫量180万トンに県産米シェア率を乗じた10万トンを下限とし、県産米の価格が安定する水準12万トンを上限として、この範囲にある場合は、在庫量を維持できるよう「生産の目安」を算出する。

(3) 主食用米の需要量

全国需要量（国によるトレンド推計：平成29年11月末基本指針より）



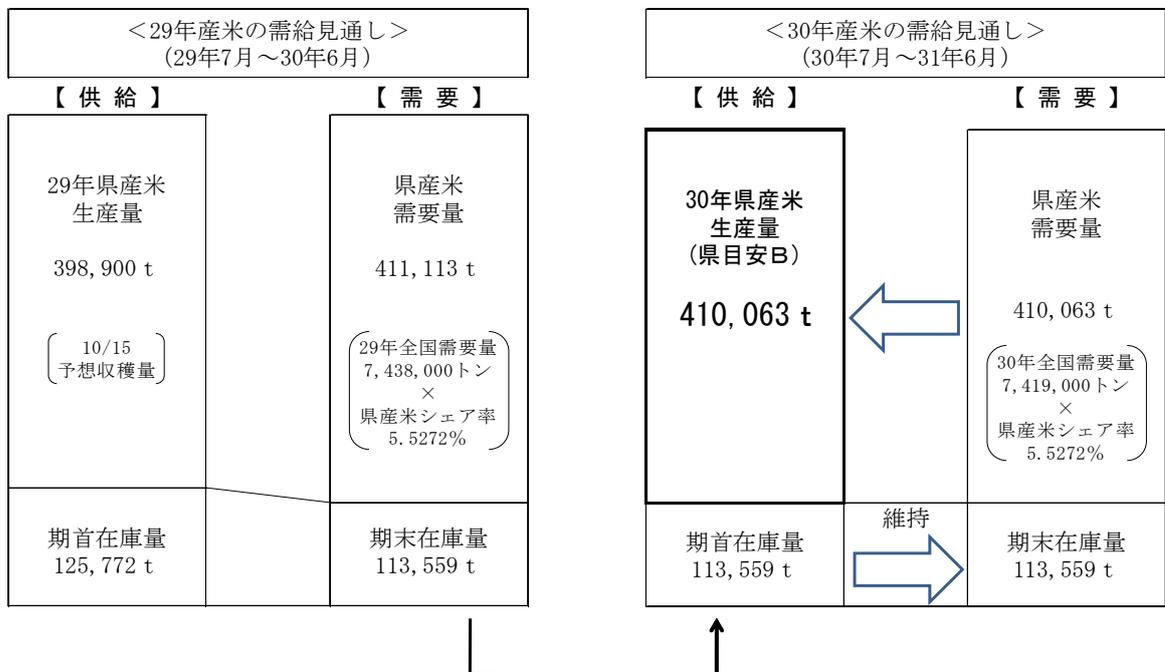
3 平成30年産米の県の「生産の目安」の算出

(1) 全国生産量と県産米シェアから算出した数値（県目安A）

①30年産米全国生産量 (11月末基本指針)	②30年産米県目安A (①×県産米シェア率5.5272%)
7,350,000トン	406,249トン

(2) 需給動向と適正在庫量から算出した数値（県目安B）

30年産の全国需要量の推計値から求められる県産米の需要量、29年産米の予想収穫量、適正在庫量から算出。



(3) (1)と(2)の中間値の算出

(1) 県目安A	(2) 県目安B	(3) 中間値 ((1) + (2)) ÷ 2
406,249トン	410,063トン	408,156トン

(4) 直近の販売状況を考慮した補正

直近の販売動向を見ると、全国的に需給が引き締まっていることから、秋田米への引き合いが強く、(3)の中間値に対して更に2,000トン程度の増産が可能と思われるが、米価が上昇基調にあり、米の需要が先細りする懸念もあることから、30年産の「生産の目安」は、29年産とほぼ同水準とする。

平成30年産「生産の目安」 (面積換算)	408,700トン (71,326 ha)
-------------------------	--------------------------

※ 面積換算 = 408,700トン ÷ 県年平均単収573kg/10a

【30年産米の「生産の目安」と29年産米の生産数量目標等との比較】

	平成30年産 生産の目安 (面積換算)	平成29年産		
		生産数量目標 (面積換算)	自主的取組参考値 (面積換算)	予想収穫量 (作付見込面積)
全 国	7,350,000トン	7,350,000トン (1,387,000ha)	7,330,000トン (1,384,000ha)	7,309,000トン (1,370,000ha)
秋田県	408,700トン (71,326ha)	408,644トン (71,317ha)	407,532トン (71,123ha)	398,900トン (69,500ha)